

第6回中央区体育協会会長杯 少年野球交流大会・特別規則及び注意事項

1 運用規則

(公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携(2018年版)「少年野球に関する事項」及び「公認野球規則」(2018年度)並びに「競技運営・大会特別規則」による。

2 大会期間

平成30年6月23日(土)・24日(日)／予備日 6月30日(土)・7月1日(日)

3 試合方法及び表彰

(1)各試合ともトーナメント戦とする。3位決定戦は行わない。

表彰：優勝 賞状・優勝杯(持ち回り)・副賞

準優勝 賞状・副賞

第3位 賞状(第3位は各準決勝戦の終了後行う。)

(2)試合回数

・各試合とも7回戦とする。(1時間20分を過ぎて新しい回に入らない。)

・決勝戦は7回戦で試合時間の制限はしない。

・5回以降7点以上の差が生じた場合は得点差によるコールドゲームとする。

ただし、それ以前の大差の場合、両監督による協議のうえ試合を打ち切ることがある。

(3)延長戦

・延長戦を行わない。7回を終わって勝敗が決定しない場合、抽選にて勝敗を決定する。

・ただし、決勝はタイブレーク(特別延長戦)に入る。

※タイブレーク(特別延長戦)

継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死満塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決定しない場合は、継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

~~*7イニング投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げる事ができる。~~

(4)連続試合 同一チームが連続して試合を行う場合は、60分程度の休憩を入れる。

(5)投球制限 本大会においては、投手の投球制限は特に定めないが、選手の健康維持を考慮し、1日7イニングまでを目安とすることが望ましい。

(6)変化球について

・投手は、変化球を投げることを禁止する。

・ペナルティーについて

ア 変化球について、ボールを宣言するとともに投手に注意を与える。

イ 注意したにも関わらず、同一投手が同一試合で再び変化球を投げた場合はその投手を交代させる。その投手は、他の守備位置につくことは許されるが大会期間中、投手として出場することはできない。

・故意の有無かは審判員が判断する。

4 出場チームは試合開始前に大会本部に、メンバー表4部を提出する。

5 用具

(1) 試合球について

全日本軟式野球連盟公認球 KENKO BALL C号ボールを使用する。

(各チーム1試合に2個ずつ持ちよる。)

(2) バットについて

①木製バットのほか、接合バットを使用してもよい。

②金属・ハイコン(複合バット)は全日本軟式野球連盟公認(JSBB)マークを付けた公認のものに限る。

(3) 捕手用具について

①捕手は、連盟公認(JSBB)のマスク(スロートガード付き)を使用する。

②捕手は、危険防止のため必ずプロテクター、レガース、SGマークのついた捕手用ヘルメットを着用すること。

③捕手及び控え捕手は、ファールカップを着用すること。

(4) ヘルメットについて

①試合中は、打者、次打者、走者及びベースコーチとも両側にイヤラップの付いたヘルメットを危険防止のため必ず着用すること。

②ボールボーイ、ノッカーにボールを渡す子供(選手)はいずれもヘルメットを着用する。

③バットボーイも危険防止のためにヘルメットを着用する。

6 塁審

(1) 該当チームから各2名の帯同審判員(申込書記載者以外の方でも可)を出すこと。

《1日2試合》 第1試合→第2試合から / 第2試合→第1試合から

《1日3試合》 第1試合→第3試合から / 第2試合→第1試合から
第3試合→第2試合から

《1日4試合》 第1試合→第2試合から / 第2試合→第1試合から
第3試合→第4試合から / 第4試合→第3試合から

《1日5試合》 第1試合→第2試合から / 第2試合→第1試合から
第3試合→第5試合から / 第4試合→第3試合から
第5試合→第4試合から

※決勝戦は、連盟審判員の3審制で行う。

※試合の記録については、各試合の帯同審判員4名の内の1名が当たる。

(2) 試合開始時間 ※同一チームが連続して試合を行う場合は1時間程度の休憩を入れる。

第1試合 / 8:30 第2試合 / 10:00 第3試合 / 11:30

第4試合 / 13:00 第5試合 / 14:30

※開始時間は、参加チーム数及び会場等の都合により変更する場合がある。

7 その他注意事項

(1) 抗議できる者は、監督と当該プレーヤーとする。

- (2)監督が同一イニングに同一投手の所へ2度いくか、行ったとみなされた場合は投手は自動的に交代しなければならない。連盟では、交代した投手が他の守備位置につくことが許される。なお、他の守備位置についたときは、同一イニングには再び投手に戻れない。
- (3)ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とする。
- (4)ベンチ内での携帯マイクの使用は禁止する。メガホンは監督のみ使用を認める。
- (5)素振り用のリングは抜ける危険があるので使用を禁止する。(持ち込まない)
- (6)試合はスピーディに行う。(攻守交代はかけ足で)
- (7)ベンチに入れるのは監督1人、コーチ2人、スコアラーと給水係(女性に限る)1~2名、及びメンバー表の選手に限る。※チーム内に新潟市野球連盟の「指導者講習登録証」登録者が監督、コーチのうち1名以上いること。
- (8)ボールボーイは各チームより2名出すこと。(保護者可)
- (9)礼儀に反するような応援はつつしむこと。(言動、鳴り物、携帯マイクの禁止)

8 大会協力義務事項

参加チームは、試合終了後、会場整備及び次の試合準備などに協力すること。

9 大会中止及び中断について

- (1)試合の有無については、試合前日の午後4時までに決定し、午後4時以降に各チームがテレフォンサービスで確認してください。 テレフォンサービス ☎025-245-4189
- (2)順延の場合は、日程が決まり次第、連絡責任者に連絡します。
- (3)予備日までに順位が決定しない場合は、その時点で残ったチームによる抽選とする。